



謹んで新年のご挨拶を
申し上げます

今年もよろしく
お願いいたします



医療法人社団 海仁
理事長 海谷 忠良

2024年1月1日に能登半島地震が発生、また羽田空港衝突事故など立て続けに災害・事故が発生しております。犠牲となられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年はロシア・ウクライナ侵攻をはじめ、イスラエルでの紛争など、非常にいたたまれないニュースが日々報道され私たちの不安を煽りました。

そんななか、WBCでの日本の優勝や、メジャーリーグでホームラン王のタイトルを獲得した大谷選手の活躍など、非常に喜ばしいニュースもいくつかあり、私たちに未来を生きる希望や勇気を与えてくれました。本年はこのようなニュースが増えてくれることを強く願っています。

今年は辰年です。勢い良く空に昇っていく龍は「力強さ」や「成長」を表します。

ここ数年の負の要素を吹き飛ばし、新たな始まりの年、飛躍の年となるように、全身全霊で取り組んで参ります。



今年の取り組み

海仁グループでは、開院当初からの理念である「患者様主体の医療」はもちろん、眼の症状それぞれの「専門外来」を強化して参ります。

みどり台海谷眼科、かけ川海谷眼科の患者様、地域の医療機関の患者様にも、より高度かつ専門的な診療をお受けいただけるよう、連携を強化し、利便性を高めて参ります。

①『ぶどう膜炎』

海仁グループでは初となる「ぶどう膜炎」の専門外来を新設することにいたしました。ぶどう膜炎の専門医は、全国的にも非常に少ないため、長年お悩みの患者様のご期待に添えるよう尽力いたします。



②『近視外来』

近年増加している「子供の近視」に対しては、昨年より京都府立医科大より専門の先生にもチームに参加していただいております。注目を集めている最新治療法オルソケラトロジーも行っております。

③みどり台海谷眼科『緑内障専門外来』

みどり台海谷眼科では、私が担当する緑内障専門外来をこれまで休診日であった木曜日の午前開始し、患者様の利便性を高めて参ります。

④視覚リハビリ室の充実～点字を学ぼう！～

視覚リハビリ室では、中途失明で失意のまま日々の生活が消極的になっている患者様にも生きがいや生活の工夫を見つけ豊かな人生を送っていただくことを目指しています。

視力が得られなくなっても、自由に読み書きができ、情報収集・自己表現ができる文化的な生活が送れるよう「点字」を学習できる体制も整えていく予定です。

接遇の改善へ

昨年は大きな体制の変更もあり、患者様には大変ご迷惑をおかけいたしました。「叱咤」も「激励」のお言葉も「接遇面」でいただくことが多かったように感じます。皆様からの叱咤激励が大きな力となり、困難を乗り越えることができました。大変感謝しております。思いやりに欠ける態度や説明不足に対してのご指摘は真摯に受け止め、改善に向け教育を強化して参ります。

入院中のお食事に関してご意見が多く聞かれました。「お味噌汁が冷めている」というご意見には、朝の回診と朝食の開始時間を遅くして、温かいものをご提供できるように改善しました。お食事をゆっくり楽しんでから診察を受けられるようになり「温かいお食事に感動しました」(叱咤激励制度での患者様のご意見)というお声もいただきました。今後も患者様主体の医療、サービスに努めて参ります。引き続きご意見・ご要望をいただければ幸いです。

人生の喜びを得られる医療を

私事ですが、おとしより療養生活を送って参りましたが、とても状態が良くなり、昨年11月1日からはみどり台海谷眼科の院長職を兼務し、診療業務も少しずつ再開しております。

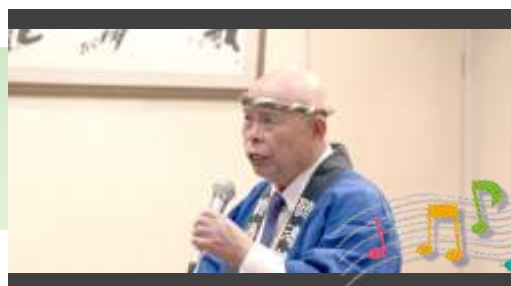
療養期間には、大好きな北島三郎さんの歌をたくさん聴いていました。「北の漁場」では荒波と戦う生き様に元気づけられ、病気に立ち向かう勇気を勝ち得ることができました。

そして一人でも多くの患者様が人生の喜びと満足感を得られるような医療をお届けする為、より高いレベルを目指して参る所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。皆様の健康と幸せ、世界の平和を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶を外来で放映しております。皆様にも眼の病気に立ち向かう勇気を届けたいという想いから、海谷理事長が歌も披露しております。





海谷眼科
院長 海谷 亮子

あけましておめでとうございます。

皆様が良き新春を迎えられたことと思います。
本年が素晴らしい一年になることを心より
お祈りいたします。

私はおとし12月に、前院長海谷忠良理事長
の後を受け、海谷眼科の院長に就任し、一年が
経過いたしました。日々の外来診療、手術そして
院長業務とで、大変慌ただしい一年間でしたが、
「患者様を主体に」を常に心がけ、日々診療を
行って参りました。まだまだ不慣れな面もあるか
と思いますが、院長として誠心誠意、責任ある診
療を行って参りますので、本年もよろしくお願い
いたします。



海谷眼科の取り組み

海谷眼科におきましては、おとし11月に
県内ではまだ数台しか導入されていない、
術中イメージガイダンスシステム※の使用を
開始いたしました。

それにより白内障術後の屈折誤差の軽減や
眼内レンズの安定性を高めることができ、ただ
見えるようにするだけでなく、見え方の質を追求
することでより患者様に満足していただけるよう
な白内障手術が可能となりました。

※術中イメージガイダンスシステム（ORA）

システムのAI機能により、全世
界の200万眼を超えるデータが手
術中リアルタイムにもたらされ、
最適なレンズ選択や、乱視用レン
ズの固定位置を確認しながらのよ
り的確なレンズ挿入が可能です。



また、昨今デジタルデバイスの使用により小児
の近視が増えていることが問題となっております。
近視は強くなると、将来緑内障、網膜剥離な
ど様々な病気につながります。そこで近視の進行
を抑制する為の治療として近年注目されている
オルソケラトロジーを昨年3月より導入いたしま
した。

その他、おとしから開始しましたマイボーム腺
機能不全によるドライアイ治療として、医療用の
特殊な光を照射するIPL治療も継続して行っ
ております。

また、緑内障センターだけでなく白内障や、糖
尿病網膜症、ぶどう膜炎、近視・屈折矯正、角膜
などの専門外来を充実させ、より専門性の高い
医療を患者様に提供できるよう努めております。

お子様から高齢者まで幅広い年代の方が受診
しやすい「かかりつけ医」、そしてあらゆる眼のご
病気に対して最適な治療を行う「総合眼科」とし
て本年も積極的に眼科診療に取り組んでいき
たいと思います。



患者様を第一に

今年は辰年です。辰年は、陽の気が動いて万物
が振動し、活力旺盛になって大きく成長して形が
整う年と言われています。

昨年11月には、当院の前院長である海谷理事長
が、みどり台海谷眼科の院長に就任いたしました。

おとしに続いて海谷眼科グループは、新体制
へと変化しております。海谷理事長とともに海谷
眼科、みどり台海谷眼科、そしてかけ川海谷眼科
が連携し、海のように広く深い思いやり、慈しみの
心、という海仁の心をもち患者様を第一とした治
療を行って参ります。

本年も、昨年同様に皆様からの力強いご支援、
ご指導をいただければ幸いです。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



かけ川海谷眼科
院長 大城 三和子

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族と共に
健やかに過ごしのことと思います。

2021年より多くの国で物価が急上昇し
はじめ、2023年も同様にインフレが収まる
気配もなく、原油高・円安により私たちの生活が
圧迫され、医療業界につきましても眼科機器や
手術に必要な材料の値上がりに苦しんだ一年と
なりました。

2024年も大変な年になりそうですが、今年の
干支が辰年でもありますので、大きく成長してよ
り良い年になるよう、それぞれ努力することが大
切だと思っています。

かけ川海谷眼科は、昨年開院35周年を迎え、
新築移転してからも5年が経過し、掛川を中心に
中東遠地域及び周辺地域の総合眼科として日々
診療を行っております。

医師・職員全員で海仁の
理念に基づいた、患者様の
ためのより良い医療をご提
供できるよう頑張っており
ますので、本年もどうぞよ
ろしくお願いします。



最新機器の導入～手術実績～

昨年のご挨拶でもお伝えしましたように、かけ
川海谷眼科でも多焦点眼内レンズをご使用の患
者様には、フェムトセカンドレーザー白内障手術装
置を用いた最新の手術を開始することが出来まし
た。

その結果、眼内レンズの中心固定、レンズの偏
位や傾きを最大限に抑えることができ、多くの患
者様が術後良好な視力を得ることができておりま
す。2022年は65例の方に使用しましたが、
2023年は95眼と前年よりも46%も増加し、よ
り多くの患者様に実施することが出来ました。

今後もフェムトセカンドレーザー
を活用し、より術後 成績が向上で
きるように努力して参ります。



今後の取り組み

また、近年の医療情勢において、政府から様々
な改革が進められておりますが、その中で4月か
ら医師の働き方改革への取り組みも 始まります。
以前に比べ、医師の勤務時間や対応にも厳しい制
限が設けられますが、医師が安心・安全に働ける
環境を見直しながらも、患者様にはこれまで同様
安心して受診いただけるように努めて参ります。

さらに、医療デジタルトランスフォーメーション※
などの取り組み推進について、医療業界ではマイ
ナンバーカードの推進などが取り組み項目に挙
がっております。

当院としても、患者様にわかりやすく導入いた
だけるよう、しっかりとサポートしながら対応を進
めていきますので、ご不明な点は遠慮なく職員へ
お声かけください。

※医療デジタルトランスフォーメーション

医療分野におけるデジタル技術による変革のこと。医療業界や各医療機関が抱えている課題の解決や目標の達成に向けてデジタル技術を活用し変革していくことの必要性が、現在強く認識され始めています。

